
異説、日本栄光の階段

橘花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異説、日本栄光の階段

【Nコード】

N4689Z

【作者名】

橘花

【あらすじ】

第一次世界大戦終結後の日本。しかし、日本に危機が迫っていた。そんな中、一部の人間が、死んだ筈の人間がこの時代の人間に憑依する事となった。彼らは歴史を知っている。どうすれば良いかを知っている。自らの歩んだ歴史を知識に。そして、武器にし、歴史へと立ち向かっていく。

これは、『異説、ドイツ栄光の階段』と世界観がマッチしており、コラボ作品です。

プロローグ

パリ フランス外務省

「牧野大使、残念ながら、貴方の人種差別撤廃案は全会一致の採択を得られなかった。」

日本には、大国に虐げられている国の人々から、大変な期待を寄せられており、幾度となく列強相手に人種差別撤廃案を牧野は訴え続けた。しかし、それは認められず、ウィルソンは廃案にしてしまった。

（やはり、彼らの方が野蛮だ。）

牧野は、そう心の中で思った。彼は、真の先進国なら、遅れている者を引っ張り、共に成長しようとする考えがあった。それを行わず、虐げている国を牧野は真の野蛮国だと考えている。

日本 横須賀

「凄いな。やはり、何度見てもドイツの潜水艦は進んでいる感じる。」

ドイツから賠償艦として到着した艦艇を見る一人の海軍士官。彼が、後の歴史の重要人物。山本五十六であった。

「また、見ることが出来るとはな。」

憑依されたのは、日本海海戦の負傷した時であった。それから、ずっと同じ歴史を歩んでいる。

「憑依したのは軍人のほぼ全て。それに、一部の技術者。これは、運がいいとしか言いようがない。」

同じ頃、政府の密命を帯びて中村千幹なかむらうちからの意思を継いだ後継者らが北海道を探索中、政府の睨み通りに莫大な金脈を発見した。これを受け、政府は行動を開始した。

国会

「今回見つかった金を使って、若い人間を海外に国賓留学させる必要がある。また、工作機械なども海外から最新式を取り寄せ、また資源を大量に輸入して蓄えるべきです。」

国会でも、何人かは同じく憑依された人間である。そして、彼らも彼らなりに対策を考えていた。そして、この案は通り、各国に若い技術者を国賓留学させた。

また、艦政局でも、新型戦艦の見直しに取り掛かった。まず、重視されたのが対空戦闘能力。そして、浮力増大などの研究に没頭する。北海道に巨大な大型ドックの建設を開始している為、現在建造中の長門と陸奥などの主力艦に留まらず、補助艦艇にまで対空兵装の充実化を図った。また、艦船の研究にも力を注ぐ。大和よりも、洗練

された軍艦建造を目指して不眠不休の研究三昧であった。

陸軍省

「海軍は艦艇研究に没頭しております。」

陸軍も負けては無かった。新兵器の戦車をイギリスとフランスから輸入し、研究を開始。そして、工場にはトラクターの生産を依頼した。それで、戦車の生産体制を確立しはじめる。

「これで、日本戦車は遅れているなんて言わせないぞ。」

陸軍は自分たちの誇りに掛けても、列強に劣らぬ性能の戦車を配備する様務めた。今は良い。ただ、列強との戦争に備えて対抗できる戦車が間に合うように、研究に没頭。

こうして、国賓留学させた若い技術者による、海外の進んだ技術を取り入れ、国内では史実以上に洗練された高性能兵器の研究に取り組む。海外と国内の技術を組み合わせて兵器設計をする。そして、新型工作機械を駆使して量産。戦線に投入する方式を、少しずつ確立していった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4689z/>

異説、日本栄光の階段

2011年12月15日22時49分発行